

一般質問

市政のつとを問う

この定例会では、12月1日から3日までの3日間、15名が登壇し、34項目にわたり、市政全般についてたまたま一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目(発言順)

※印が掲載した項目です。

- 野中 1 ひろみ 議員 男女共同参画社会の実現に向けて空き家対策について
- 沖野 2 温志 議員 下水道整備計画と都市計画税について
- 神谷 3 昌宏 議員 公共施設・市営住宅・民間住宅の耐震化について
- 犬飼 2 博樹 議員 児童クラブについて
- 野村 1 武文 議員 ウェーブスタジアム刈谷の屋根材料の真偽について
- 新海 2 真規 議員 財政から見た福祉充実について
- 星野 3 雅春 議員 障害者就労支援について
- 森田 3 健資 議員 中学生レスキュー隊について
- 清水 2 行男 議員 体育館、ウィンゲアリーナ刈谷の空調費について
- 蜂須賀 2 信明 議員 市長の政治姿勢について
- 山本 1 シモ子 議員 コンビニによる公文書発行について
- 山内 4 智彦 議員 自然災害への備えについて
- 櫻谷 1 勝 議員 障害者の就労支援について
- 加藤 2 賢次 議員 まちづくりと市街化区域の拡大について
- 白土 3 美恵子 議員 農業・農村整備事業の推進について
- 白土 2 美恵子 議員 市長の市政への取り組みについて
- 白土 1 美恵子 議員 シモ子 議員 公共施設連絡バスの充実について
- 白土 3 美恵子 議員 新庁舎建設をめぐる地元業者への発注の実態について
- 白土 2 美恵子 議員 住宅リフォーム助成の実施について
- 白土 1 美恵子 議員 高齢者のくらしを支援する住宅要望について
- 白土 3 美恵子 議員 今後の大型建設事業と健全財政維持の展望について
- 白土 2 美恵子 議員 吹戸川流域の浸水対策について
- 白土 1 美恵子 議員 ジェネリック医薬品の普及促進について
- 白土 3 美恵子 議員 公園及び公園内施設の管理運営について
- 白土 2 美恵子 議員 里山イニシアティブについて
- 白土 1 美恵子 議員 ウイルス対策について
- 白土 3 美恵子 議員 災害対策について
- 白土 2 美恵子 議員 滞納対策について

一般質問でのすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/gikai/>
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください

野中 ひろみ 議員(一問一答方式)

各種審議会等政策方針決定の場に女性委員の登用を

外部の方の意見を取り入れ、プランの推進に取り組み

問 第2次刈谷市男女共同参画プランの特色は何か。

答 男性の家事、育児、介護への参画促進や、外部の方の意見を取り入れるように(仮称)男女共同参画プラン推進懇話会を立ち上げたこと、更にDV等を防止する環境づくりや相談・連携体制の充実、被害者の自立支援など一連の流れを拡充した。

問 本プランにおいて、審議会等における女性委員の割合の目標、及びその目標達成への取り組みを考え方はどうか。

答 目標は平成27年度には27%、平成32年度には35%としている。目標達成へ、各課へ女性

問 港町グラウンドについて、サッカーのまちなイメージにふさわしく、広大な天然芝のサッカー場として多くの市民に愛されてきたが、グラウンド状態がよくないといった声を聞いています。借地の買い上げや新たな施設整備を含め、今後の整備についてどのように考えているか。

答 クラブハウス等の設備も充実し幅広く使えると高い評価を得ている。サッカー連盟からの要望も踏まえ、必要な整備を行いながら、また借地料の交渉も行いながら、今後も継続して利用していきたい。

問 来年度実施される「全国ろうあ者体育大会」について、聴覚による案内表示が重要と考える。電光掲示板について、現在は選手紹介や結果表示ができないと

野中 ひろみ 議員(一問一答方式)

スポーツ施設の中心的存在としての整備を

利用者サービスの向上を目指し検討していく

問 港町グラウンドについて、サッカーのまちなイメージにふさわしく、広大な天然芝のサッカー場として多くの市民に愛されてきたが、グラウンド状態がよくないといった声を聞いています。借地の買い上げや新たな施設整備を含め、今後の整備についてどのように考えているか。

答 改修には約700万円、新設する場合には2〜3億円かかるの見込まれ、設置から17年を経過していることから全面改修も考えているが、結果のリアルタイム表示は参加者の励みに

なると思われるため、ろうあ者の体育大会をきっかけに結果表示ができるような改修を検討していく。

神谷 昌宏 議員(一問一答方式)

景気浮揚にもつなげる耐震改修補助の増額を

改修に踏み切る動機づけの効果もあり、今後検討する

問 幼、保、小中学校を含む市内全ての公共施設・市営住宅の耐震化率はどのようになっているか。

答 取り壊し予定の青葉福祉センターを除き、公共施設の耐震改修は全て終了、耐震化率は100%。また、市営住宅の改修は17団地の内、3団地を残すまでになっている。その内、上沢渡住宅は本年度改修設計を行っており、平成23年度以降工事に着手する予定で、他の2団地については、今後改修の手法やスケジュールを検討する。

問 平成14年度にスタートした木造住宅耐震改修補助事業の実績と対象となる住宅戸数は、また耐震改修のための平均工事費はいくらか。

答 平成14年から22年11月末までの累積件数は213件。耐震診断の対象となる住宅戸数は10、199戸。平均工事費は

約222万円である。

問 対象となる住宅のわずか2%程度しか耐震改修化がされていない。現在は工事費の1/2、上限60万円となっているこの補助金を、改修が促進されるように引き上げる考えはないか。

答 補助の増額や補助率の引き上げは、改修に踏み切る動機づけの効果もあり、今後補助の増額について検討していきたい。

問 人にやさしい快適産業文化都市を目指してきた刈谷市ではあるが、共働きをする市民から児童クラブの受け入れを現在の3年生までから6年生までにしたいといった要望を数多く耳にする。また、既に実施している近隣市もあると聞くが、どのような認識でいるのか。

答 児童クラブは児童福祉法において対象児童を概ね10歳未満の児童と規定しており、本市も3年生までを対象児童とし、子供の安全性の向上を第一に考



港町グラウンド



小学校等の耐震補強は完了

答 学年拡大については、国
の動向も踏まえつつ指導員の確
保など課題を解決して、2、3
年後にならないように実施でき
る児童クラブから進めていき
たいと考えています。

野村 武文 議員（一括質問一括答弁方式）
ハコモノ偏重から福祉施策の充実にシフトを
——中長期的な財政バランスを考慮し、慎重に対処——

問 普通建設事業費比率の数
値はどのようになっているか。
またその数値は他市と比較して
どのようになっているか。

答 普通建設事業費比率は歳
出総額に占める普通建設事業費
の割合で、21年度が33%、20年
度は31.4%で、西三河の中で
最も高い数値となっている。

問 平成21年度の普通建設事
業費のうち総合文化センターと
新庁舎にかかる費用はいくらか。
またその費用を福祉の充実に向
けることができたかと仮定した場
合、どうなるのか。

答 平成21年度の普通建設事
業費は約19.1億円で、このう
ち総合文化センター関係分は約
60億円、庁舎建設関係では約42
億円である。この財源は特定財
源であり、経常的な収入ではな
いため福祉関係の施策に向ける
ことはできない。



刈谷市総合文化センター エントランス

問 刈谷市の施策を、ハコモ
ノ偏重から福祉優先へベクトル
をシフトすることが、今後の重
要な課題で、かつ喫緊を要する
と思うがどのように考えるか。
答 これからますます進むで
あろう少子高齢社会は、本市に
おいても大変重要な課題と認識
している。中長期的な財政バラ
ンスを考慮し、健全性を保ちな
がら慎重に対処していきたい。

新海 真規 議員（一問一答方式）
少年育成スポーツに体育施設空調費補助を
——スポーツ施設として魅力を高めるため調査・研究していく——

問 施設使用料は、休日の入
場無料の大会で利用する場合、
3時間で4、500円、7、3
00円で、空調利用料は1時間
で1万円、17、000円と、
施設使用料に比べて空調利用料
金は圧倒的に高く、このため施
設の使用を控えてしまっている
現状をどう考えるか。

答 空調利用料金は光熱水費
の実費程度を利用者に負担した
だいており、アリーナ等は広い
ため規模相応の金額になってし
まう。

問 豊田市では、少年育成ス
ポーツであれば50人以上の参加
で空調費は半額にしており、ま
た碧南市では、空調費は利用料
金に含まれないと聞いている。
子供たちにとって大切な成長
過程での鍛錬に利用するとき
は、空調費を補助するなど特別
な配慮があってもよいと考える
が、例えば空調の利用料金を改
定するとしたらどんな手続きが
必要になるのか。

答 空調利用料金の改定のた
めには、条例の改正が必要とな
る。広告料収入や税外収入を幅
広く求めている現状から、すぐ
に料金の引き下げは厳しいが、
本市のスポーツ施設がより使い
やすい施設として魅力を高める
ため、調査・研究していきたい。

星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）
コンビニによる公文書発行の実態と導入の是非
——コスト削減と費用対効果を考え、検討——

問 休日夜間窓口における住
民票等の公文書発行実績として
平成21年度は5、682通と報
告されているが、その業務にか
かる人件費は幾らになるのか。

答 正規職員2名から3名で
対応しており、これらに関する
経費は年間約163万円になる。

問 全国ではコンビニにおい
て印鑑証明や住民票などを発行
しているところがあると聞く
が、どのように認識しているか。

答 千葉県の市川市を初め、
全国で6市区町が実施している
が、発行できる証明書の種類も
少なく、全国での交付実績も少
ないのが現状である。

問 市川市は、コンビニと自
動交付機による証明書発行のサ
ービスを導入しているが、その
経費は年間2億円近くにもなる。
それに対し、本市では人件費

森田 健資 議員（一問一答方式）
障害者が自立した生活を送れる就労支援を
——関係団体と協議し、雇用の拡大を検討する——

問 公園や墓地の草取り、草
刈り、遊歩道の水路清掃等の障
害者施設への発注予定はある
か。

答 障害者団体等において仕
事を請け負う体制を整えば、市
からの仕事の発注を検討した
い。

問 市役所、公共施設での障
害者の雇用は拡大できないのか。
答 現在刈谷市で障害者が従
事している業務は、窓口、デス
クワーク、文書の仕分けなどで



市川市の証明書自動交付機

162万円程度に抑えられてい
ることから、すぐに導入する必
要はないと考えるが、どう考え
ているか。

答 コンビニ交付や自動交付
機が休日夜間窓口と同じ業務を
行うことができるのであれば、
重複するサービスは必要ないと
考える。住基カードの普及とコ
スト削減のため近隣各市と連携
を図り、費用対効果を考えながら
検討していく。

あるが、新庁舎となり床のフ
ラット化やエレベーターの増加
など、働く環境の改善が図られ
たので、今後は障害者の方が就
労可能かさらに検討し、採用に
向けて取り組んでいきたい。

問 アピタ、ヨーカード等の
大型店舗で、障害者施設で作っ
た製品を販売した実績はあるか。
答 障害者団体が昨年6日間
アピタ刈谷店において物品販売
を実施した。市でもイベントな
どでの販売を協力していきたい。

問 障害者施設の自主製品カ
タログを、刈谷市が協力して発
行する気はないか。

答 市内には縫製品やお菓
子、石鹸、キャンドルなどさま
ざまな製品を製作している事業
所がある。自主製品のカタログ
はPRする手段の一つとして有
効であるので、関係団体とも協
議をして検討していきたい。

清水 行男 議員（一問一答方式）
時代の変化に合わせた新しい視点でのまちづくりを
——市民が安心して快適なまちづくりを推進していく——

問 第7次総合計画の骨子が
まとまりつつある中、県が示す
西三河都市計画では、刈谷市の
計画人口が増えるのに対して市
街化区域は減少するという矛盾
点があるが、市の計画において
どのように調整していくのか。

答 平成32年度における想定
では、約4、600人分、80ha
が必要と見込まれるため、拡大
市街地部分の人口フレームを確
保できるように努めていく。

問 土地区画整理事業につい
て、地元との調整を初め非常に
時間がかかると思うが、今後の
編入計画はどうなっているか。

答 半城土や小垣江地区を予
定している。

蜂須賀 信明 議員（一問一答方式）
市民目線による市政運営の推進
——「人が輝く安心・快適な産業文化都市」の実現を目指す——

問 竹中市長はマニフェスト
を掲げて当選した刈谷市初の市
長であり、そのマニフェストで
は、「やすらぎ・いきがい・うる
おい・いろいろ・しんらい」を
キーワードに71項目の基本政策
を提示しているが、現在どのよ
うな進捗状況か。

答 全項目中、進捗率100
%のものが全体の約48%、進捗
率75%のものが約27%となっ
ており、全体の4分の3の項目に
ついて、ほぼ予定どおり事業を
進めることができたと思われる。

問 市民の目線に合った各種
施策・事業を積極的に推進して
もらいたい。今後の市政運営
について、再度市民の皆様を負託をいた
だけるのであれば、「人が輝く安
心・快適な産業文化都市」の実
現のため全力で取り組んでいき
たい。

定しており、アンケートや懇談
会による理解活動を行う。住宅
地については良好な都市基盤を
確保し、治水等の防災対策の向
上を図るとともに、生活利便施
設の適切な配置を図っていく。

問 事業の推進にあたり国や
県も認める「地区計画制度」の
活用も考えられると思うが、市
街化区域の編入を含めたまちづ
くりの基本的な方針を聞きたい。
答 本市は今後もしばらくは
人口増加が見込まれる。市街化
区域を拡大しつつ、道路・公園
の整備や医療・商業等の生活利
便性の向上を図り、安心で快適
なまちづくりを目指していく。

据え、どのように取り組むのか。
答 平成19年に市長就任以
来、「仰ぎて天に愧じなし」という
心意気で、できる限り市民の目
線により、住み続けたいと思っ
ていただけるよう努めてきた。

今までのような右肩上がりの
経済成長は難しく、今後は今あ
る公共施設という資源を、いか
に質を高め、やり繰りをするか
という視点が大切になってくる。

再度市民の皆様を負託をいた
だけるのであれば、「人が輝く安
心・快適な産業文化都市」の実
現のため全力で取り組んでいき
たい。